

事業番号	1	事業名	科学技術戦略推進費
------	---	-----	-----------

評価者のコメント（コメントシートに記載されたコメント）

- 機動的対応は、総合科学技術会議を司令塔に予備費及び補正予算で対応する。
- 総合科学技術会議の戦略性と司令塔機能は、政府の予備費の存在を前提とすれば、数億の研究費（直接執行分）としてプールする意味はない。司令塔機能を発揮するための事務費に限定すべき。（既執行分についての評価を明らかにすべき。）
- 総合科学技術会議は、科学技術戦略の司令塔とし、基本方針とその評価に集中し、個別プロジェクトを行うべきではない。
- 日本にとって最重要である科学技術・イノベーション政策の司令塔は、府省横断的な判断やアクションを要されることもあり、また調査分析も従来以上に充実することが必要。このため、本推進費を全廃することは望ましくない。規模の問題。
- 予算の執行と評価の分離をした上で、政策立案に資する調査、予備的研究にシフトすることが必要。
- 他の府省で実施されている関連したプロジェクトを調査した上で、プロジェクト全体を俯瞰し、横断的に整理した結果を総合科学技術会議に報告すべきである。
- 文部科学省が創造性・独自性を発揮できる事業に特化した方がよいのではないか。

評価結果

抜本的改善

廃止	2名
抜本的改善	2名（実施主体0名、事業規模0名、事業内容1名、予算執行0名、その他0名）
一部改善	2名（実施主体0名、事業規模1名、事業内容1名、予算執行1名、その他0名）
現状通り	0名

（注）抜本的改善、一部改善の（ ）書きは改善内容を示し、複数選択を可能としている。

とりまとめコメント

本事業については、「廃止」2名、「抜本的改善」2名、「一部改善」2名との結果を踏まえ、「抜本的改善」という結論とし、以下の3点のコメントを付すこととする。

- ① 「重要施策への機動的対応の推進」については、総合科学技術会議の改組の議論に留意しつつ、政府として緊急対応のための予備費や補正予算があることを踏まえ、科学技術戦略推進費の中にどのような用意をしておく必要があるかとの観点で、その在り方や規模を見直す方向で改善すべき。
- ② 「地域再生人材創出拠点の形成」については、地域社会の産業振興や活性化を目的とする他の事業との関係を検証し、より効率的・効果的な事業の在り方を検討すべき。

- ③ 総合科学技術会議は、司令塔機能として府省横断的判断と調査分析により基本方針を定め、しっかりした評価を行うべき。そのため、各府省で行われている類似の事業との関係を整理する等、効率的な運用が行われるよう科学技術戦略推進費の在り方も抜本的に改善すべき。